

グループホームひなせ 地域連携促進会議 開催報告

開催日：2026年2月20日（金）

場所：グループホームひなせ

【参加者】

- ・A様（利用者）
- ・B様（利用者ご家族）
- ・C様（地域の方）
- ・D様（市福祉担当者）
- ・森木貴啓（グループホームひなせ管理者）

【開会・挨拶】

- ・管理者より開会の挨拶を行い、地域とのつながりを深め、利用者の皆さまが安心して暮らせる環境づくりにつなげたい旨を伝えた。
- ・会議録作成のため記録を行い、内容をホームページへ掲載することについて説明し、了承を得た。

【議題】

1. 参加者自己紹介

- ・管理者より会議の流れを説明した後、参加者それぞれが自己紹介を行った。
- ・利用者、ご家族、地域、行政、それぞれの立場から、日頃の関わりや思いを共有する時間となった。

2. 地域連携促進会議について

- ・会議の目的として、地域と事業所が協力しながら利用者の暮らしを支えること、地域に事業所への理解を深めていただくこと、安心・安全な運営につなげることを説明した。
- ・継続的に意見交換を行い、より良い支援体制を整えていく場であることを共有した。

3. 事業所概要説明

- ・グループホームひなせの概要、利用者状況、職員体制、日常生活の流れについて説明した。
- ・現在は2ユニット体制で運営し、定員14名中13名が利用されていることを

報告した。

- ・利用者の高齢化や医療的支援の必要性が高まっている現状についても共有した。

4. 事業所見学

- ・さかえホーム、なぎさホームの順に見学を行った。
- ・居室、共有スペース、見守り動線、転倒しやすい箇所、災害時の避難経路などを案内した。
- ・実際の生活環境を見ていただき、支援内容や安全面への工夫について理解を深めていただいた。

5. 事業所の取組み

○地域との関わり

- ・地域清掃活動や交流行事への参加を継続している。
- ・今後も地域行事や防災活動へ積極的に参加し、顔の見える関係づくりを進めたいことを伝えた。

○医療連携

- ・近隣の病院などと連携し、通院や緊急時対応を行っている。
- ・受診時に不安が強くなる利用者には、事前説明や見通しを伝える支援を行っている。

○防災関係

- ・年2回の避難訓練に加え、地震・津波を想定した訓練も実施している。
- ・昨年の津波警報時には近隣施設へ一時避難した実績がある。

○ヒヤリハット・事故防止

- ・服薬ミス防止、転倒予防、夜間見守り強化など、安全対策に継続して取り組んでいる。

6. 意見交換（ご意見・感想・質問）

- ・地域とのつながりづくりが今後さらに重要との意見があった。
- ・夜間の避難体制や、高齢化に伴う支援体制について質問や意見があった。
- ・利用者ご家族からは、夜間も職員がいることへの安心の声が聞かれた。
- ・余暇活動や地域交流の機会を増やしてほしいとの意見もあった。

○まとめ

- ・防災、高齢化、医療連携、地域交流など、事業所単独では難しい課題について共有し、地域と協力しながら取り組んでいく必要性を確認した。

【閉会・挨拶】

- ・管理者より、地域・行政・医療・ご家族との連携を大切にし、利用者の皆さまが安心して暮らせるホーム運営に努めていくことを伝え、閉会の挨拶を行った。
- ・地域連携促進会議は今後も年1回程度の開催を予定しており、次回も引き続きご協力をお願いしたい旨を共有した。